



DX推進で 縫製事業の構造改革と 成長をめざす

代表取締役社長 岩村 真二

「収益力向上への構造改革」と「新規事業による成長ビジネスの創造」を二つの柱として、新たな成長を目指しています。伝統と信頼を築いてきた縫製事業においては、その歴史の中で育まれた品質へのこだわりを礎とし、デジタル技術によるDX化や自動化を推進することで、「トータルソーイングソリューション事業」へと進化させてまいります。これにより、お客様に新たな価値を提供するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

また、グループビジョンの策定と同時に、トリーカグループ経営理念を明確にいたしました。

**「心豊かで多様な人財の育成」「新たな会社の価値創造」
「社会的課題解決への貢献」。**

創業の精神である「社是」と「トリーカ経営理念」を基盤とし、一丸となってこのトリーカグループ経営理念の実現に邁進してまいります。社員一人ひとりの成長とエンゲージメントを高めながら、変化の激しい時代に果敢に挑戦し、社員と共に輝かしい未来を創造してまいります。

当社は1961年、繊維製品の製造・販売を主力事業として誕生いたしました。以来、60余年にわたり、「安全でより高い品質」を追求するDNAを受け継ぎ、時代の変化に対応しながら事業を継続してまいりました。現在では、ワコールグループの一員として、鳥取県をはじめとする7つの生産拠点を中心に、事業を展開しております。

2021年には、創立60周年という大きな節目を迎え、2031年の創立70周年に向けて『トリーカグループビジョン2030』を策定いたしました。コロナ禍を経て、社会環境や産業構造が大きく変化する中で、私たちは事業構造そのものの見直しを図り、

History 沿革

1961(昭和36)年	4月	鳥取県西伯郡名和町に於いて創業
	11月	鳥取県西伯郡西伯町に西伯工場開設
1963(昭和38)年	3月	鳥取県東伯郡北条町に北条工場開設
1970(昭和45)年	8月	鳥取県西伯郡淀江町に淀江工場開設
	9月	島根県能義郡伯太町に伯太工場開設
1975(昭和50)年	4月	長崎県松浦市福島町に長崎工場開設
1977(昭和52)年	5月	佐賀県唐津市肥前町に肥前工場開設
1980(昭和55)年	8月	鳥取県鳥取市青谷町に(株)タクト青谷工場開設
1989(平成 元)年	4月	鹿児島県出水市高尾野町に(株)タクト高尾野工場開設
	11月	鹿児島県出水郡長島町に(株)タクト長島工場開設
1992(平成 4)年	7月	大阪府茨木市に本社移転(鳥取本社、大阪営業所統合)
1998(平成10)年	4月	鳥取県西伯郡南部町(旧西伯町)に米子工場開設(西伯工場、伯太工場統合)
	4月	関連会社の(株)タクトを吸収合併し、「新生トリーカ」スタート
1999(平成11)年	10月	鳥取県米子市淀江町に大山工場開設(名和工場、淀江工場統合)
2002(平成14)年	2月	中国(瀋陽)との委託加工貿易開始
2011(平成23)年	4月	創立50周年を迎え「感謝のつどい」を京都で開催
2021(令和 3)年	4月	創立60周年を迎える
2022(令和 4)年	4月	「トリーカグループ ビジョン2030」を策定
2024(令和 6)年	10月	佐賀県唐津市肥前町に西九州工場開設(長崎工場・肥前工場統合)



創業の地 大山(鳥取県)

■ 社名	株式会社トリーカ
■ 設立	1961(昭和36)年4月
■ 資本金	9,240万円
■ 資本構成	(株)ワコール (株)トリーカ関係 (株)鳥取銀行
■ 売上高	33億円('25年3月期)
■ 代表者	代表取締役社長 岩村 真二
■ 事業内容	ファンデーション・ランジェリー・ニットインナーおよびスポーツ・メンズインナーの製造・販売
■ 社員総数	361名(男性41名・女性320名、グループ全体 '25年3月期)
■ 取引銀行	鳥取銀行大阪支店、三菱UFJ銀行茨木支店
■ 関連会社	(株)タクト野田、遼寧天馨時裝有限公司(中国)



拠点一覧

大山工場
鳥取県米子市淀江町淀江176
TEL.0859-56-2275



米子工場
鳥取県西伯郡南部町北方1189-1
TEL.0859-66-3231



北条工場
鳥取県東伯郡北栄町弓原149
TEL.0858-36-3121



青谷工場
鳥取県鳥取市青谷町青谷4295-1
TEL.0857-85-0811



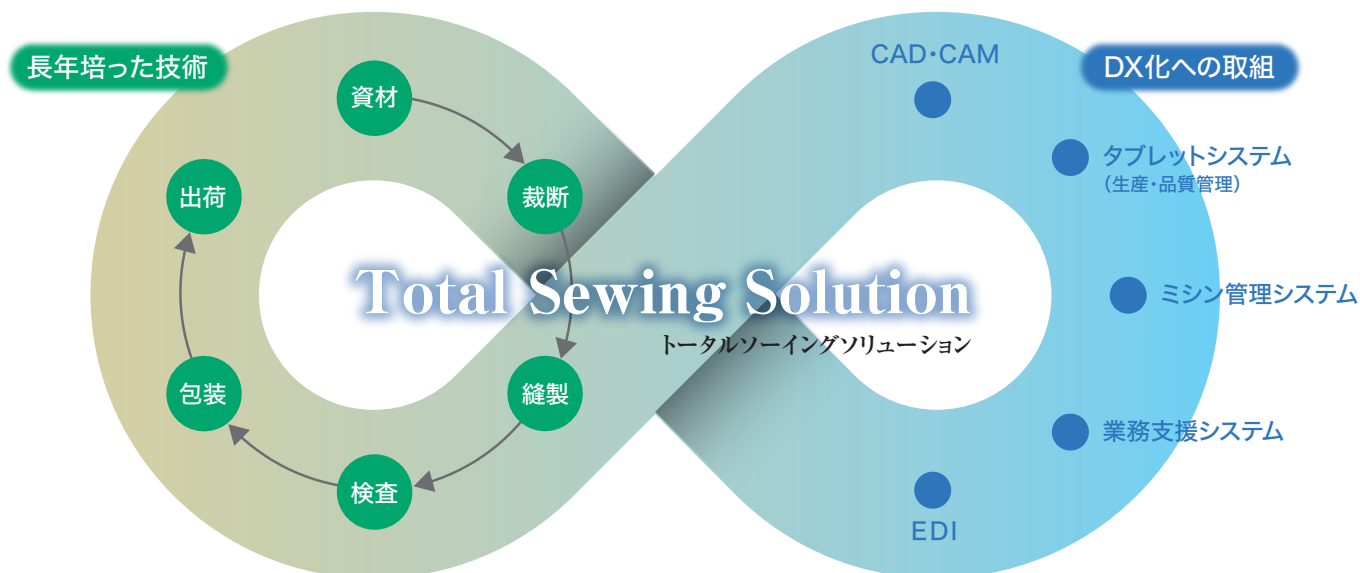
高尾野工場
鹿児島県出水市高尾野町大久保3816-37
TEL.0996-82-2112



長島工場
鹿児島県出水郡長島町指江523
TEL.0996-88-5925



変わらぬ真心と、変わりゆく技術。DXで、未来のものづくりを変える。



裁断

素材への深い理解と最新技術の融合が生む、妥協なき裁断

多種多様な反物生地の特徴を熟知し、環境や材質を考慮した解反・延反処理を行います。CADでの精密な型入れと最新の自動裁断機を使用し、熟練職人による手作業を組み合わせ、高品質な裁断を実現します。CADを活用して生地の無駄を極限まで削減し、生地の利用効率をさらに向上させることで、環境負荷の低減に努めています。



縫製

熟練の技が息づく、精密な縫製

経験豊かな縫製技術者の手によって、各パーツは丹念に縫い合わされ、製品としての姿を現していきます。60年間培ってきた正確に速く縫う技術や高度な立体縫製技術は、高品質な製品を生み出すために欠かせない重要な要素です。一針一針に込められた、ものづくりへの深いこだわりが、卓越した技術力を生み出しています。



検査

お客様へ安心をお届けする、徹底した品質検査

縫製が完了した製品は、厳しい検査基準に基づき、縫製不良、規格不良、異物混入がないか、検査員が一つひとつ正確にチェックを行います。さらに、金属探知機を加えた何重ものチェック体制により、お客様に安全で高品質な製品をお届けすることをお約束します。



専門メカニックが生み出す、トリーカ独自の機器研究・開発

生産計画に基づき、多様なミシンの中から規格・材質に応じたミシンを選定し、調整と準備を行います。また、アタッチ等のパーツ加工はまさに職人技です。縫製員とメカニックの連携により、短納期・高品質を実現しています。



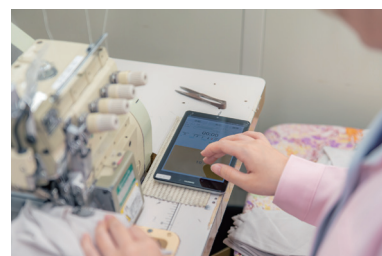


生産工程の効率化から品質管理まで、
トリーカ独自のデジタルデータの活用を進めています。

タブレットシステムによる生産管理

縫製現場の『見える化』で、生産性を新たな次元へ。

デジタルデバイスを活用し、各縫製員の縫製時間や枚数をリアルタイムに把握することで、ライン全体の課題を早期に発見し、生産効率を最大化します。縫製時間の詳細な分析は、ボトルネックの解消や標準作業の最適化に貢献します。また、標準時間を軸とした教育訓練は、縫製員のスキルアップと多能工化を促進し、変化に強い組織を作ります。女性が多い職場だからこそ、働き方に配慮した持続可能な生産体制で、長期的な成長を目指します。



ミシン管理システム

ミシン管理を可視化。QRコードで、在庫も稼働もリアルタイム管理。

各ミシンにQRコードを付与することで、機種、型番、購入日、設置場所などの情報を一元管理できるシステムです。縫製員がQRコードを読み取ることで、稼働データが自動収集され、稼働率を可視化しています。これにより、不要ミシンを整理し、スペース効率の向上に貢献します。また、これらのデータはメンテナンス時期の管理や、将来的な設備投資の判断材料となります。



業務支援アプリケーションの独自開発

課題解決から効率化へ。

現場と技術が創る、トリーカソーイングソリューション。

現場から寄せられる業務上の課題を明確にし、必要な支援を具体的に特定することが重要です。これらのニーズに基づき、専門チームが自社に最適なアプリケーションを開発し、業務の効率化を目指しています。業務プロセスをよりスマートに進化させるトータルソーイングソリューション事業へのトリーカの挑戦は続きます。



入社12年 Mさん
(生産管理・技術指導)

ものづくりの最初から最後まで
携われるのが魅力です。

Q1) 現在の仕事内容と、そのやりがい、魅力、面白さは？

入社後はまず縫製工程に配属され、ものづくりの基礎を学びました。現在は、生産管理・生産計画の作成、技術指導、試作など、ものづくりの幅広い工程に携わっています。様々な部署との連携を通じて、製品が完成するまでを見届けられることが魅力だと思います。また、計画達成に向けて、関係者とコミュニケーションを取りながら進めることにやりがいを感じます。入社当初は一人で問題を抱えがちでしたが、今は周囲に相談することで多様な解決策を学び、知識やスキルが向上できていると実感しています。

Q2) 今後のキャリアにおいて、目指す姿や挑戦したいことは？

今後の目標は、上司のように誰もが話しかけやすく、相談しやすい存在になることです。そのため、縫製技術や知識のより深い習得を目指しています。日々の業務においては、丁寧な挨拶や言葉遣い、“報連相”の徹底を心がけ、目先の業務だけでなく、先の計画を見据えた行動を意識しています。また、共に働くベトナム実習生との円滑なコミュニケーションのため、ベトナム語の学習にも挑戦したいです。

Q3) トリーカの魅力は何ですか？

トリーカは社員が安心して長く働けるよう福利厚生が充実しており、自身も育児

休暇を2回取得し、復帰後は育児時短制度を利用しました。仕事と育児の両立がしやすい環境で、子どもの体調不良などで急に休んでしまうときも、周りの皆さんのサポートのおかげで、安心して働くことができている。その他にも、季節ごとのイベントや、年齢に関わらず社員同士が仲が良いことも魅力の一つだと思います。

子どもの体調不良で休んでも
周りがサポートしてくれます。



Mさんの一日のスケジュール

8:15	8:30	10:00	12:00	12:50~14:50	15:00	16:45
入社	進捗確認	ミーティング 改善活動	事前検討会	お昼休み	ミーティング 改善活動	10分休み
					事前検討会 改善活動	打ち合わせ
						退社



管理職・監督職が集まり、その日の生産計画と各工程の仕掛状況を確認します。



生産状況に応じた最適な人員配置の指示や縫製員に技術指導を行います。



指図書通りに試作し、試作段階で課題や改善点を洗い出し、量産の準備をします。



新鮮な発見が多いことに
面白さを感じます。

入社6ヶ月 Oさん
(メカニック)

Q1) 入社のきっかけや決め手は？

長く非正規雇用として製造業に携わる中で、正社員として腰を据えて働きたいという思いがあり、同じ製造業のトリーカに応募しました。決め手となったのは、採用面接の中で、私の経験を高く評価し、大きな期待を寄せてくださるのを感じたことです。「ぜひこの会社で皆さんの役に立ちたい」と強く感じ、入社を決意しました。

Q2) 現在の仕事内容と、そのやりがい、面白さは？今後の目指す姿は？

現在の仕事は、ミシンの準備や縫製トラブル対応の基礎的な調整の練習が中心

です。思うようにいかない難しさに苦労しながらも、ミシン調整の奥深さを日々実感しています。昨日できなかったことができるようになった時、小さなことですが達成感を感じています。

また、簡単な作業ですが、縫製応援も行います。その中で、製品が完成する過程や工場全体の流れを学び、多くの新鮮な発見に面白さを感じています。

将来的には、技術力向上による貢献はもちろん、社員がより働きやすい環境づくりにも貢献できる存在を目指したいです。そのために、入社して日が浅いという甘えは捨て、できることは最大限に取り組み、できないことには「いつか必ずできるようになる」という前向きな気持ちで臨んでいます。会社がしっかりと利益を出


し、社員みんなが明るく楽しく働ける会社になれば最高だと思います。

Q3) トリーカの魅力は何ですか？

何と言っても働きやすい職場環境です。先輩社員の皆さんが、気遣いや思いやりの気持ちを持って接してくださるのを日々感じています。経験不足でできないことがあっても寛容に見守り、頑張っていればその努力を認めて褒めてくれるので、「もっと頑張ろう」という気持ちが自然と湧いてきます。フレンドリーな方が多く、入社したばかりでもすぐに馴染むことができました。イベント事も多く、入社してすぐに節分の豆まきに参加したのですが、仕事以外で面白いことをする会社だなと驚きました。



その経験不足でも頑張っていれば
その努力を認めてくれます。

 Oさんの一日のスケジュール

8:10	11:55	12:45~14:45	14:55	16:40	
出社	午前作業	お昼休み	午後作業 10分休み	午後作業 整理整頓 振り返り	退社



研修スケジュールに沿って、ミシンの分解組み立てを行い、ミシンの構造を学びます。



生産ラインで進行補助や製品の部分検査を行い、生産プロセス全体を理解します。



片付け、研修記録(日報)を作成して、今日学んだ知識やスキルをしっかりと記録します。